

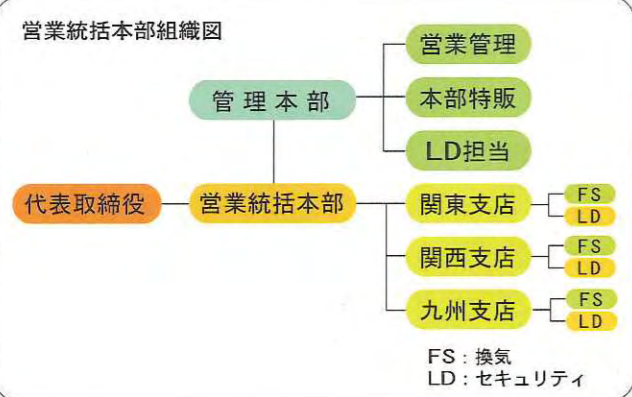
あすのビジネスのヒント! PICK UP TOPICS

部門紹介(1) 営業部門



営業統括本部は管理本部、本部特販、関東支店、関西支店、九州支店で構成されています。各支店はそれぞれの担当エリアで、特販は地域横断的な活動を行っています。また、営業管理は各営業活動の支援と、お取引先様やユーザー様からの問い合わせに対するスムーズな対応に努めております。

当社は、開発から製造まで一貫して行っている優位性を最大限に発揮するため、営業活動の中で市場のニーズを吸収し、新商品の開発に活かしています。今後も次世代換気システム、特にプロワー型換気扇を中心に床下での市場拡大と天井裏換気システムの提案を各方面に継続して推進して参ります。



NEWS

白対協 全国大会へ出展参加

■会期: 2004年11月11日(木)~12日(金)
■会場: 千葉県浦安市ヒルトン東京ベイホテル

11月11~12日に千葉県浦安市ヒルトン東京ベイホテルにおいて開催された「第47回白蟻対策協議会全国大会」の展示会に、当社も出展をいたしました。当日の展示会には43の企業が出展参加されており、終日盛況な展示会でした。当社ブースでは、次世代換気システムが注目を浴びていました。特にプロワー型換気扇に対する関心が高く、多くの質問をいただき、有意義な2日間となりました。これを機に各支部で開催される大会へも積極的に参加させていただき、会員の皆様との交流をもっと深めてまいりたいと思います。



INFORMATION

住宅情報誌「世界でいちばん自分らしい家2」で、西邦電機製 床下・天井裏換気システムタービン・プロワー(HB-400EX)の記事が掲載されています。(扶桑社より11月発行)



HISTORY OF S
西邦電機小史

第8回
「悲喜こもごも」

大 石が課長職になった昭和四七年の九月、「日本列島改造論」を掲げた田中内閣が成立した。各地で開発ブームが起き、世の中は活況を帯びた。高度成長期の到来である。大石のモーター事業部では、需要が月ごとに倍、倍と伸び、やがて福岡本社工場の月産能力を上回るようになり、本社だけの対応はお手上げとなった。沖繩を除き、九州松下が工場や関連会社を唯一もつていなかった長崎県の諫早市長野町に、月産二〇万台の生産能力を持つ新工場の建設が決まった。大石に、声がかかった。「長崎工場の製造責任者として、助けてくれ」大石は、自ら育てた精鋭から、班長と組長の二人の責任者を選び、新規採用組に技術を叩きこんだ。昭和四八年八月、大石は、八〇人の人員と共に、諫早に入った。一ヶ月で準備作業を終え、予定通り翌九月から操業を開始した。「定時は午前零時と思ってくれ」大石は無理を承知で残業を強いた。ひと月でも早く、月産二〇万台の軌道にのせようと、必死だった。

「定時」を過ぎ、残業が午前二時、三時に及ぶことも多かった。結果、年内に目標の二〇万台を達成した。それは、奇跡に近かった。

明けて昭和四九年、本社で生産していた洗濯機モーターの製造を引き受けるなど、大石たちの工場は順風満帆だった。「優良工場」の指定を受け、本社から役員や幹部社員が見学に来た。工場の士気は上がった。しかし、その頂点に達したとき、仕事がパタリと止まった。「石油危機」後の不況が訪れた。まさに「油断大敵」だった。猛スピードで成長を続けてきた日本経済に急ブレーキをかけたオイルショックは、インフレ、買い占め、便乗値上げなどを引き起こし、日本列島をパニックにした。パニックはやがて深刻な不況となり、物価の上昇が消費の停滞を生み、企業の生産活動を麻痺させていった。

会社というものは、冷酷である。月産五万台の洗濯機モーターラインは閉鎖され、五〇人が解雇された。大石にとっても初めての、厳しく、逃れようのない経験だった。大石は、本社に戻れるかどうか、専務に伺いをたてた。「君は長崎の事情に詳しいから、もう少し残ってくんか」「こちらに仕事はないんですよ」「仕事はある。君には営業に回ってもらおう。籍は、事業部長付営業課長で、どうや」入社十八年、四〇歳を前にしての課長職。だが、その仕事が、考えてもみなかった営業職とは・・・大石は、まさに悲喜こもごもの心境であった。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

お陰様で今年西邦電機は、創業三十周年を迎えることとなりました。これもひとえに、皆様方の御支援の賜と深く感謝申し上げます。さらに皆様のご期待に添えるよう益々の努力、研鑽をして参る所存でございますので、引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願ひ申し上げます。

平成十七年 元旦
西邦電機株式会社
代表取締役 大石龍也

●西邦電機オフィシャルニュースレター「ウインド・フロム・フューチャー」2005年冬第8号 ●発行日/2005年1月1日発行
●発行/西邦電機株式会社 〒818-0066 福岡県筑紫野市永岡1021-2 西邦ビル tel 092-928-6300 fax 092-928-6353



*最新情報はこちらで SEIHO-WEB www.seiho-sdk.co.jp

このニュースレターは、環境にやさしい大豆油インキ(SOYINK)を使用しています。



お客さまと西邦電機をつなぐコミュニケーションペーパー



さまざまな住環境に対応できる、ハイブリッドシリーズの拡張性をご紹介します。

発売以来、次世代型換気システムとして大きな反響を得てきた西邦電機のハイブリッドシリーズ。住環境を選ばない抜群の施工性に加え、換気能力を存分に発揮するその拡張性は、2005年の新機軸です。

■ハイブリッドシリーズの拡張性

ブロー型換気システム



タービン・ブロー HB-400EX

据置タイプ
据置例
アジャスターフット

取付タイプ
取付例
本体固定プレート

吹出ノズル
パイプフード
スリムノズル ※吹出ノズルの追加オプションになります

拡散型送風機



タービン・ブロー+PD HB-400PD

タービン・ブロー+PC-01A HB-400PD+PC-01A

攪拌型送風機



タービン・ウインド HB-306AG

タービン・ウインド+PH-01S HB-306AG+PH-01S

現在の住宅は建築技術が進み、様々な建築手段があります。床下や天井裏も例外でなく、従来のパネル式の換気扇では取り付けの出来ない住宅も、少なくはありません。そこで様々なアタッチメントノズルをラインナップ。住宅ごとに異なる環境でも、それに合ったアタッチメントノズルを選ぶことで、本来の換気能

力を十分に発揮し、床下・天井裏の換気を可能にしたのが、ハイブリッドシリーズなのです。ブロー型換気システムには天井裏の本部に取り付け固定する「取付タイプ」と、床下の地面に直接据え置き設置する「据置タイプ」の2種類があります。また、アタッチメントノズルも、換気口に取り付ける「吹出ノズル」、壁に丸穴を設

け、そこから排出する「パイプフード」、基礎バッキング工法の床下でも吹き出すことのできる「スリムノズル」があります。排気システムをサポートする送風機にも防虫効果をもった「フイトンチッドカートリッジ」や「オゾンナイザー」などをオプション装備出来るようになっており、よりよい床下環境の実現をめざしています。

ブロー型換気システム 買い換えキャンペーン実施中!



1981年に床下換気扇が発売開始され24年目になります。トータル出荷量も50万セットを超えるロングセラー商品となりました。すでに設置後10年以上経過したものについても、10万セット超になります。

西邦電機では、長年、床下換気扇をお取り扱いされている販売店様に、次世代商品との買い換えキャンペーンの実施を推奨いたしており、是非ともお客様との再接点にお役立て頂きたいと考えております。

つきましては、2005年上半期をキャンペーン強化期間としてサポートしてまいりたく、販売店様へご提案いたしてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

パネル型床下換気扇から、次世代ブロー型換気扇への交換に役立つ、通風パネルやアタッチメントも準備いたしております。

くわしくは営業各支店までお問い合わせください。

- 関東支店 048-863-1133
- 関西支店 06-6854-6077
- 九州支店 092-928-6300

TOPICS

(財)国際経済交流財団 デザイン導入成功事例に当社が選ばれました。

(財)国際経済交流財団 平成16年『中小企業におけるデザインの成功事例』その要因の分析に係る調査研究』において、デザイン導入の成功事例として全国から24社が選ばれました。その中で西邦電機の床下換気扇がデザイン性を重視し、継続してきたことにより、多数のGマーク取得や同業他社に決して真似のできない高品質商品メーカーとしてブランド化に成功したとのレポートが紹介されております。

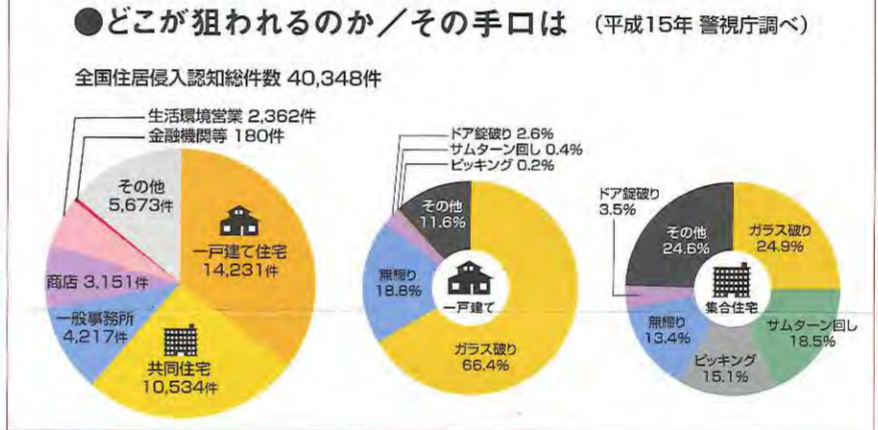
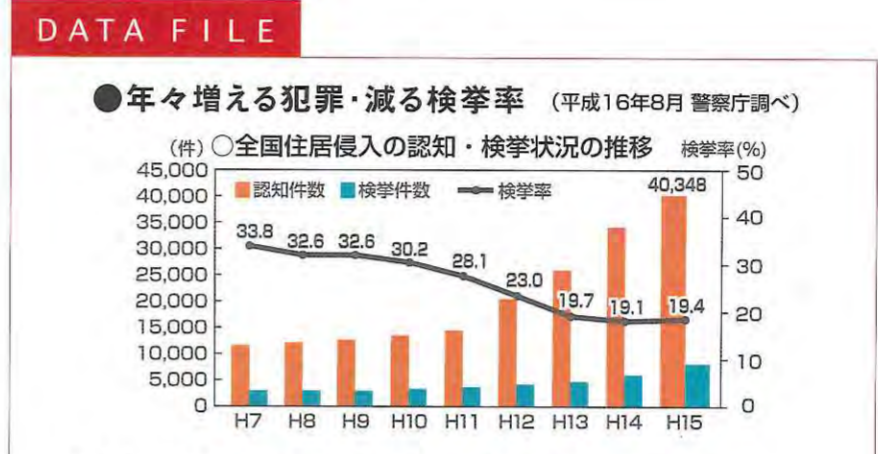
(レポート制作:UFJ総合研究所)



ホームセキュリティシステムの必要性がますます高まっています。 ライフディフェンス NEWS

犯罪を未然に防ぐ意識が重要です。

下のグラフを見れば、住居侵入犯罪は年々増える一方であるのがわかります。警察庁の検挙件数も上がってはいますが、犯罪増加に追いつかず、検挙率は19%台です。そして、住居侵入犯罪はさらに増える傾向にあります。防犯意識の低さが犯罪の増加を招く原因の一つでもあり、「自分の家は大丈夫」「泥棒が入っても取られるものがない」と言う人が多いようです。泥棒と出会い、強盗に変わる例はいくつもあります。命は一つしかないことを忘れてもらいたくないと思います。西邦電機のセキュリティシステム「ライフディフェンス」は、住居侵入犯罪を未然に防止し、万が一侵入されても、被害を最小限に抑えるお手伝いをいたします。



市民が主体となって地域防犯活動!

福岡県宗像市に「市安全・安心なまちづくり推進協議会」が発足。日本初のモデルケースを展開。防犯意識を高める市民運動に西邦電機のセキュリティシステム「ライフディフェンス」もお手伝い

福岡県の宗像地区は福岡、北九州の中間に位置し、交通の便良さなどから両市のベッドタウンとして急速に発展してきました。それにともない人口増加と都市化現象により、事件・事故も複雑多様化しながら増えてきました。そこで宗像警察署でも、地域ごとの防犯講習会を年間60回ほど開催し防犯意識を高める活動を推進してきました。

そしてこのたび宗像市では増える犯罪に対し、市民が主体となって地域防犯活動に取り組む「市安全・安心なまちづくり推進協議会」が発足しました。推進協議会では犯罪に強い町づくりのソフト面の核になる組織でコミュニティ運営協議会代表者で構成されています。宗像市・宗像警察署・消防本部・地域安全連絡会の四機関で作る「市安全・安心なまちづくり連絡会議」と連携し、犯罪情報を緊密に連絡しあいながら市内に21ある市民の自主防犯組織を支援していきます。これによって市民と行政、警察などが一丸となった防犯体制を強力にアピールし、犯罪を未然に防いでいこうとしています。

宗像市ではこのほか9月から防犯に配慮した一般住宅やマンション、商業施設に対し一定の防犯環境設計の基準をクリアした場合、防犯モデル認証書、防犯モデル認証ステッカーを交付する認証制度を始めています。これによって泥棒が必ずおこなう下見の段階で犯行を思いとどまらせる効果を期待しています。



セキュリティフェア出展(テクニカル電子IB交流会)

11月10日テクニカル電子IBセンタービル5Fにおいて同社主催のセキュリティフェアが開催され、西邦電機として出展いたしました。1日だけのフェアでしたが、200名ほどのセキュリティ関係の来場者があり、内容のある展示会でした。新規顧客になりそうな会社との商談やセキュリティに従事している同業者や警備会社、携帯電話への画像送信など、新技術や実状などいろいろな情報が得られました。


特定商取引法改正に伴う弊社の取り組みについて

今回の法律改正は、昨今の高齢者を対象とする販売目的の隠匿、効能効果の誇大説明などに起因する消費者トラブルをなくすため、必要な規制強化と民事ルールを整備したものです。

POINT

※弊社では自社内にシミュレーションスタジオ、テストハウス、風量測定器など多数の実験設備が有り、さまざまなパターンでの検証実験が可能です。

改正項目の中で、合理的な根拠を示す資料の提出義務が追加されています。訪問販売などにおいて商品などの効能効果に関して虚偽、誇大な勧誘や表示によるトラブルが増えています。しかし、こうした効能効果については疑わしい場合であっても関係当局における事実認定の作業に多大な時間を要するため、当該事業者に対してその効果などについて合理的な根拠を示す資料の提出を求めたものです。また一定期間内に提出されない場合は不実勧誘とみなされます。弊社では今回の法律改正に対応するため、取り扱っている全商品についての必要な実験データなどを整備しておりますので、販売業者様からの資料要求に対して、スムーズに対応してまいります。今後とも弊社の商品を信頼いただき、安心してお取り扱いくださるようお願いいたします。



積水ハウス株式会社
福岡カスタマーズセンター
カスタマーズ課 主任
井上 義博 氏

SEASONS COLUMN

風と住まい

住宅産業に携わる識者のリレーコラム
「屋根裏での強制換気の効果」

子供、屋根裏に上り大事な物をかくしたり、かくれんぼして遊んだものですが、屋根裏が暑いと言っている記憶がないように思います。日本の家はよく出来ていて、屋根は杉の皮を敷き、粘土をのせ、粘土瓦をかぶせています。

私が弟子のころ、三角形の木の箱を背中に背負い、粘土を入れ、ハンゴを登り、屋根の上まで運びました。土をのせた屋根は吹き込んだ雨水を吸って、雨漏れを防ぐようになっていきます。日光がさすと熱を防ぎ、家の中が暑くならないように工夫されています。すきま風は入りやすくないね。

最近多くのハウスメーカーが販売している一戸建住宅の屋根裏換気は現状は、必要最小限のものであり、日本のような変化の激しい気候条件のもとで、年間を通じて、すべての住宅で換気が充分機能しているとは言えません。

例えば、真夏の屋根裏の温度上昇は予想以上のもので、その結果室内の温度が上がり、冷房効果を著しく低下させている事は多くの人が体験されている通りです。同時に天井裏に使われている建材からのホルムアルデヒドなどの有害物質の発散が非常に活発になり室内への流入も考えられます。

また、冬場においては軽量鉄骨構造住宅の場合、屋根裏の鉄骨表面に結露が発生しやすくなり、天井のシミやカビを発生させる原因ともなります。

以上の様な住宅の屋根裏で発生する問題を解決する一つの方法として、最近注目しているのが換気扇による強制換気です。効果も確認されており、今後、積極的に活用をしていきたいと考えています。